

創立5周年に当たって



み かみ たけし
見上 彪

食品安全委員会 委員長

食品安全委員会は、平成20年7月1日に創立5周年を迎えました。平成15年7月に施行された食品安全基本法に基づき、「リスク分析」という新しい考え方を導入した食品安全行政の枠組みが構築され、食品安全委員会は厚生労働省、農林水産省などのリスク管理機関から独立したリスク評価機関として、科学に基づきリスク評価やリスクコミュニケーションに取り組んできました。

この5周年という節目を機に、これまでの歩みを振り返り、もう一度原点に立ち返って、食品安全委員会の進むべき道を確認し、新たな展開へ向けて、しっかりとした足場を固めていきたいと考えています。

食品安全委員会は、科学に基づき評価を行う機関ですが、国民の皆様にも、より身近に感じ、より信頼される存在でありたいと願っています。食品安全委員会委員及び事務局職員一同、国民の皆様のご期待に応えられるように、引き続き努力して参りますので、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

※本号は、平成16年7月に創刊した季刊誌「食品安全」のバックナンバーから、反響の大きかったリスク評価結果の解説などを抜き出し、最新の情報も加味して再構成したものです。

CONTENTS

食の安全に「絶対」はない、と考える それが「リスク分析」の基本です 3	食中毒の原因となる微生物の リスク評価について 12
食の安全性を科学的に判断する それがリスク評価です 4・5	食品中のトランス脂肪酸の 分析調査を行いました 13
我が国における牛海綿状脳症 (BSE) 対策に係る食品健康影響評価の概要 6・7	食品に関するリスクコミュニケーション14・15 ■我が国における牛海綿状脳症 (BSE) の 国内対策を考える ■海外からの講師招聘による講演および意見交換会 ■リスクコミュニケーター育成講座を 各地で開催しています ■ジュニア食品安全委員会の開催について
大豆イソフラボンを含む特定保健用食品 3品目の食品健康影響評価について 8	
魚介類等に含まれるメチル水銀を考える 9	
残留農薬等のポジティブリスト制度の導入 における食品安全委員会の役割について10・11	食品安全委員会の行うリスク評価や 意見交換会等の実績について 16